



自承應三年  
至享和三年  
年表

卷五

船白を名用ニテ  
寛文十年條ヨリ  
日迄ニ用フ

特別  
イ 4  
3159  
G 9 (1)









○七言も宣長と云ひしと云ふ事多し  
 ○ひ、方うゝと云ふ事も多しと云ふ事多し  
 ○袴重保輔の保輔は井澤長秀校訂の今昔物語はヤススケと云ふり、萬治三年刊の字法拾遺物語はハルスケと云ふり  
 ○諸道徳年世問祖作者損得豊豊  
 ○世問妻取氣作者鳴屋仙次と云ふり  
 ○又世言長形高高 仙次と云ふり  
 ○冠縁を續貂貂 作者上田信孫信孫

稻生若水、狩野探雪、鳥山芝軒、中江岷山生  
 ○板坂卜齋跋(淺草文庫創立者)文庫成就セルハ萬治三年ナリ  
 ○正月市井兒童、紙巻アゲ禁止。  
 ○古今和歌集打続 校者上田松成松成  
 ○天明二年乙亥  
 ○御給物箱者向むかひ口。御者上田世賜  
 ○萬治二年乙酉二月 尾崎一丁目  
 ○萬治三年乙酉見あ補正校者上田信孫  
 ○也哉抄心をも上田宗化 撰州如嶋村  
 安永二年九月











三十七、二十の寸あわさる毒をとり用ひしる  
るり

○茸の中毒

舞茸を喰つて毒ひをさるるすの毒  
の毒羽衣より、或る毒菌を喰つてや  
たらし高きあまのなりりかるるは應  
齋の伊豆ノ野日記に出るが、  
十三年一月廿七日、後愛知の甚毒で或  
る毒草を喰つて男女皆裸となりたり  
女などは風に上困つ、此毒がある、此年武  
州三峯山とて寒氣の中裸裸りしつた学  
生が狐はけりしたといふのは何の中毒ならん

戊戌

鳩巢、中島訥所、香川宣所、西山健甫、大串雪蘭  
南南山、伊藤好義齋、石原学魯生

○聖王遊廊

一冊 板元堀巻希左衛門

左は養正外もものゆき以儀り 彩の出  
てす板元ゆりの申出てを名司り  
少雨は板り(大坂五坂社日録)  
てき評、養集とは山冊子なりが故か、  
徳の大坂の酒後岸 是よりしつかぬ、若  
くは、そのいづれも氏教よ案ある  
るのり、を司り司り少雨は板り也  
しめたる役人とお官吏とかの判らす

萬治元



考の仕あふ何の世もろくものあり

○寶鑑貽照 一冊 中野宮馬八年九月

作き白隠和尚 杖元本を新巻海門

△風雅多一首金銀袋 一冊

女訓三才問答 一冊

万人一首女要訓 一冊

秋香多一首大成 一冊

新編多一首寶袋 一冊

女靴多一首信 一冊

古板元去各各を新巻海門の古今百人一首に

結を形通し以上あかく改歌し言符と移り出

移元去各各を新巻海門の古今百人一首に

己亥

大石良雄、佐々木文山、跡部光海、菊地武雅生

○朱舜水・陳元賛歸化。

△光文百人一首明錦 一冊

花例多一首玉錦 一冊

後玉多一首却巻信鏡 一冊

大冠多一首 一冊

金帯多一首 一冊

五正多一首 一冊

聖徳多一首 一冊

以上七種は題并百人一首と題し一冊の口

結を形通しそれぐ改歌歌也

移元去各各を新巻海門の古今百人一首に

萬治二



○狂詩選

一冊

士氣堂ノ十二月

作者 都庭鐘

板元 和原元信

○難船風雨之圖

文化三年刊 競奇遠

卷之三・龍世紀

○奇言百人一首

一冊

狩ノ安永三、十月

作者 野田内匠

去政 河内屋長兵衛

○難飲書合おののひ

一冊

心去 得業軒。安永三年十月 板元 去政  
後 履善七申出

将野周信、市川才牛、永井如瓶生

○豊後ニ於テ邪氣敷教徒ヲ刑ス。

○柳原源次郎ハ牛糞屋トシテ大政ノ書肆

月岡丹下ノ本姓ハ馬淵ナリトシテ如ク、

吉女ノ名布衣ニシテ鳥飼ニ雅ヲ有リトシ

醉

○怪矣侯叢

五冊

許可安永七年十月

作者 源作 升兵衛 板元 子持 和原元信

○康熙字典

康熙

一冊

作者 都府 六郎 許可安永九年十月

○經典師

此者

漢大六



○漫遊記 五冊 丁酉

作者多氣能後足 板元山本屋忠為  
寛政十年五月。許可定政于五月十九日

○折々草 五冊

作者建後足 (政人) 板元扇屋助  
寛政十年七月許可。十二月辛未

○呂新吾先生語録 三冊

板元若槻屋三郎 板元河内屋左衛  
許可定政于十月

○古筆了佐波 年八十一 五冊

作者 繪本七郎 板元什屋七右衛  
許可 寛政十二年十二月

光琳、其角、有賀長伯、天野信景生

○古筆了佐波 年八十一

○八月關所通行女手形制定。

○我宿州 三冊 辛卯 許可意和子

作者 太田道灌 板元和泉屋卯吉

○穴北談士膏油郎 五冊 許可文化七年五月

作者 芝屋勝助 (政人) 板元布衣忠三郎

○魚釣釣竿精要 一冊 甲子 文化十一年四月申也

作者 白舟子 板元大政平野右衛門



○釜師名匠考 一枚 許可文政九、五月

板元系 釜屋彦考傳

○おりの山つと 一冊

書云 森し風 心を藍を蒲原次

書云 無み三歌 一枚 地巻長号考

書云 女政十三子六月

許の 天保二年三月二十日

附記。おの板のを許さぬしつとあ

許りあ先ふち新ひ下げを申出ら

○和州法隆寺靈宝目錄

善板王法隆寺 申出 天保六年十二月

臺弘 河内巻 宇多傳

壬寅

三宅尚秋、狩野峰信、矢野拙秋生

○撰出法眼二叙セシ

○大改出版絶板書目

太平義書傳 享保五年九月

色の中 享保十九年二月

思ひつね

好色友ちどり

好色ひみつむこ

玉つばき

千流枕

花のまぐ

狂歌置土巻 十一月

寛文二



精忠傳抄 太平義長傳ノ類書

晴陽英華

月夜仙傳

百花祥史

家系・家系・家系・家系ノ事抄部

日月記抄

浪花色八卦

秘事吉光

陽基遺編

讀經の巻

帝詩歌説

訓語三部書

癸卯

乾山、笠翁、福津祇堂、馬場春水、谷重遠、

三宅石庵、初神永敬生

○四月廿七日靈元天皇即位

萬葉集 西陽 世傳抄

列仙傳 聖德太子二傳

南臺記

按花巻仁王の所日 凡儀よりあるを

江解 徳和記 月双六

大改也 治物

出 遠 随 尊

具 尽 都 下 也 子

寛文三







香酌卯  
 忍苑人名深  
 朝舞珍華華集  
 商室珍華集  
 四子重煥尋芳記  
 示代方位記  
 洗心洞前記  
 三箇事久集 大地句と、為  
 傳心堂皇親法華經入 大地

板倉復軒、望月雷山、佐藤周耕、生

○徳川光圀封内淫祠三千餘ヲ毀ツ

○田内梅軒・金森得水等陶器をな  
 どを作りて遊ぶると云ふ淫祠一丁  
 此らもそのものなるに、いかに  
 得心のやうなり、天狗連中、  
 てい、西の山とほ、予、  
 葉、雨鼓谷と録、風好、土鏡、  
 予、水と解、得、予、



丙午

母りあは深草の元政ありのりも定  
たり、土は伏見深草のりも定  
て行く地の人形解の用ありを  
うのりも定用ありを  
は陰磁器のりも定  
人形解のりも定  
文紙のりも定  
識人後のりも定  
又栗田の林山と無ありのりも定  
あり、栗田のりも定

丁酉記

住吉廣保、岡嶋石梁、藤原東壁、向井滄洲、

江村毅庵生

○十月山鹿素行ヲ赤穂ニ配ス。

光山、瘦山、東山、帶山、丹山  
のりも定あり  
し  
祝せ

○本堂名不圖存不載ノ石

日本武尊傳の掛石 醒井

祭石 修石 あり

電石 東の山下浦ありあり 形カニ

寛文六











大段伏見三尾

深江屋太郎兵衛刊版

歌玉の徳ノ由余をのちくるものや

叙天の草のけしきをこと

芝峰大随院野納手書

○酒田山王様ご海老子とかがりかん子が  
相撲子を取ったば海老子勝ら曲んだ  
アかんぢか子又投げられて

○多田信吉水戸殿を守り、車  
丹波・谷分和泉を奪う家康の  
毛利勝を助ける

己酉

三輪執齋、公辨親王、石山師香生

○長音子ノ歌

たかやげあけられぬとくさるに  
うさびしんをすくすか行

○或る山音香、夷鼓の奥室に於い  
て初秋月を詠じて曰く

一葉散る柳の糸の絶間より  
新子(細きあまの三日月)

寛文九



庚戌

古筆了周、伊藤東涯、生

○醍醐隨筆(中山三柳翁)刊。

○六月本朝通鑑ヲ京都ニ奉ル。

○昭和二十年四月一日以降日記

一日 正午士一氏来ル

二日 朝中新田墨子来ル ぶんそくめん

大束一ヶつ、むらさ

墨子之原行用紙五百枚・ライイトイコキ

一瓶遣ル

午後修後侍何、来ル白米二升ガナリ

もと、額州ノ大硯・紀州瓜谷石(もと

晴

寛文一。



晴

雨

佐多妻夫氏(形)を依頼す

高の妻(水地)より来る。理多野

田中氏来る。理多野二。入浴

三日 立石より中野平ニテ為撰一丸来る

昨夜老子帰宅

午は息柵来る。夜高木も来る。絨織

熊の皮、刀長光・登高・國老、三批

抱す

此の夜十二時より教機来る。大空

寂。控室あやしく上野附近に聞こ

中。善作の方出たあり

四日 夜も多妻も来る

辛亥

予

四月七日地黃坊樽次(茨木春朔)歿五十八歳

栗山潜峰、理慶尼、廬草拙生、園林竹生、

○清如水春流著、續徳然草刊。

○六月陳元禱歿、年八十五。○四月伊達宗勝父子ヲ土

佐ト豊前ニ配ス(三月伊達騷動鞠問)

五日 鳥柵来る。為撰

用字司 五ヶ

部野(おと)云云ニテ六ヶ女カケ百十二百五

十ヶ拵下ケ

夜も多妻も来る

寛文二



四月五日

寒甚く雪敷ふ

七

五日晴

二月分味積石り来り

敵機一石来袋関东上空及び大島

爆撃

午の五時半に空に云々云々云々

来り

梁田蛇巖、就尾隆長生

五月廿三日石川丈山死年九十一。六月大橋長左門没。

四月十三日

初十日此敵機来襲

日多しと云ふ事未焼く

四月十四日

鳥物色々来り

五日分六千圓

金井・山崎二氏来り

十五日

初日二万機部空襲

大森島四方島法島



晴天

十七日 鳥羽・如後 西人・為造一  
十八日 二十四日 國持  
十九日 德天 凡年  
二十日 東京 東京 能給

廿一日 六一 凡年

息極午前中 為造三個 (六〇〇)

廿二日 午前 會 本 氣 亦 用 乘 元  
皮 亦 之 依 托 內 容 大 多 乃 對 於 和 後 之  
後 城 之 上 之 一 意 雖 在 中 一 意 在 為 幼 幼 九 成  
三 五 清 溪 帳 尚 又 法 事 也 尚 古 亦 刀 緒  
下 點 相 諸 紙 凡 公 與

癸丑(九月廿日改元)

高田敬輔、桑原空洞生

○十二月、有鄰撰、愈思隨筆十二卷刊。

○隱元寂年八十。

藏書書目

- 一、太平御覽 大字本 百冊
- 二、太平廣記 唐小 五十冊
- 三、佩文韻府物類彙 唐大 六十冊
- 四、本朝通記 和太 二十冊
- 五、格致鏡原、莊子集覽、字源彙編、新書

延寶元

上 古 本

廿二日







江上  
小本

望和  
小本

二十、近き先拾遺、京都人、名海、四十二
廿一、赤雲、江、播磨、九、高子、四十四
廿二、池水、湯、文、道、三、信、信、五、五
廿三、きのの寺、本、多、約、の、入、男、記、四十九
廿四、尺、七、一、尺、七、部、大、院、本、廿九
廿五、藝、家、書、本、廿六
廿六、宗、印、書、院、天、工、割、物、三十三
廿七、勝、多、毛、合、多、同、多、お、多、五十五
廿八、小、説、の、景、三十八
廿九、百、面、お、千、井、此、強

乙卯

己卯  
洋装  
四六

延寶三

土佐光祐、おゆま、信、堀内仙鶴生  
 ○黒川道祐著、遠路軒隨筆七巻成り。

三十、日、本、隨、筆、七、巻、成、り、廿一
廿一、リ、廿二
廿二、日、本、隨、筆、七、巻、成、り、廿二
廿三、珊瑚、網、一、巻、成、り、廿三
廿四、新、以、信、頼、廿一
廿五、國、文、大、院、一、巻、成、り、廿二
廿六、廿四、史、略



丙辰

成桐

卷二

昇凡五

倦詩 三

暇賦 終始略二

易小歌 三

執子一歌 一

歌八歌 五

新以詩 二

咳下中之一歌

鳥操之主歌 四

大凡歌 三

長門歌 四

吟終歌 三

哀二世賦 七

白梅圖 九

綾部綱齋、松浦霞沼生、

反觀持 三

壹楊賦

絶句

帰 三

思云 二

鳴白琴歌 四

悲憤詩 五

引極 五

胡笳 三

山中人 五

聖終中 三

延寶四

魚山印送神曲 七



丁巳

祇園南海、英一峰、小倉尚齋生

○江戸准十二卷刊。

四月廿一日 江戸に來り

午の金井山崎 終る本刻上り來り

午の金井山崎 終る本刻上り來り

廿一日

廿一日 江戸に來り

十二月廿五日 江戸に來り

七月廿一日 江戸に來り

六月廿一日 江戸に來り

五月廿一日 江戸に來り

延寶五



壬午  
少  
卯

信為文二下之示其り半下外之

伊純 池上

北の 割帯二胡麻のり之た身黄

金井須山二惡来少云

北七 一夜雷雨

北八 晴新多也息柘二印只来

二印只白菜打手汝指空教序

遺云

戊午

南  
版

物即氏信、西川祐信、桂山彩嵩、宇野明霞、  
菅野兼山生

○心越帰化。

○六六上。早稲屋史。古新寺傳石便房

色也給也史。支那路書史。室町時文書

割向新給。也中好新給

大ニ給馬了也。新給能給能

早稲人名給也。後六上給也。後文書

文書新給二冊。五台寺山月寺

善所給也

延寶六



己未

晴

延寶七

羽川珍重、並河天民、橘守國、若林強齋、木村

探元生

○十月越後騒動裁決。

◎昭和二十一年五月四日

業平村九時七九分、業平村九時三十分

山形縣庁署

業平村九時七九分

秩父より、持見山、拾遺、山形縣庁通、ト

山形縣庁署、五、

五月五日、端午お祭り、地蔵さま

台、古川、四文と書、何意、海、下、都、亭



平

晴天又雨

晴天

曇

晴

晴小雨

庚申

野蒜摘みの為なり 路蒜二年とす

七日 事世し。二十四日 總長と土着の六日 同家代

八日 叔十時此士(が)大守より夕陽のま

著

九日 古一の客来

十日 一時十時此士(が)大守より夕陽のま

一五〇〇 惣代

十一日 白方雷雨

十二日 夕方の雨午後晴る。にーんほり石給あり

十三日 小倉井。田のり子・梅枝。尾花より

十四日 正の守り子 蘇空帰

十五日 二〇〇〇 正の守り子 蘇空帰。葉草より

夜十時此士(が)来る

大同春卜、大宰春臺、杉本魯山、伊達吉村生

〇續魚名抄(國西惟中著)刊

〇八月十九日後水尾法皇崩、壽八十五。

廿三日 言志四條禊了

廿四日 午前所にり半 穢帝御空袋

八。情報 因何 五。さるぞ

廿十日 此古一、果

廿五日 中ま二尾の

此夜 皇皇焼

皇朝史略了

延寶八

關保之助氏戰死判明 東京帝國博物館調査員關保之助氏(〇)は去月二十五日の空襲以來行方不明となつてゐたが、翌子夫人(〇)長男保真氏(〇)同夫人靜子さん(〇)の家族がM.M.M.に澁谷區の自宅防空壕で死してゐた遺骨は親類の群馬縣碓氷郡安中町の醫師堀口浪造氏方に安置されてゐる



吊

晴天又雨

晴天

曇

晴

晴山雨

庚申

野蒜摘みのりり 野蒜二年とす

七日 事世し。二十日 總長と土倉代六 因ふ

八日 叔十時此士(お)大守より午後五時

著

九日 古一の客来

十日 一時此士(お)大守より午後五時

一五。惣代

十一日 白方雷雨。

十二日 午前雷雨。にんぼひ記給ありり

十三日 小倉井。田んぼ子。梅枝。尾花又はこ

十四日 正午雷雨。空帰

十五日。二〇〇〇。正午雷雨。葉集りて

夜十時一雨来る

大同春卜、大宰春臺、杉本魯山、伊達吉村生

○續魚名抄(國西惟中著)刊

○八月十九日後水尾法皇崩、壽八十五。

廿三日 言志四條禊了

廿四日 午前所にり半 撥帝御空袋

八。情報因何 五。さるぞ

夜十時此士(お)大守

廿五日 午前二尾のり

此夜 皇朝使略

皇朝使略了

延寶八



晴

廿五日

五月

續皇朝史略後了

廿五日 在子因了

十一氏 休息

十一日 十時 四十分 抄

今日抄了  
第拾卷終格

辛酉

安藤東野生

○五月將軍自越後騷動裁決。

天和元



言言言言

654321

漢詩 大綱

詠物詩選

支那 法帖

書苑

太平御覽

唐史綱目補

前漢書

後漢書

野史

古事類聚

六百冊 四十卷 一千卷

四十卷

一百卷 合十八冊

二十卷 二十冊

野史

古事類聚 大綱 文學部 二十冊

壬戌

宮川長春、松崎白圭、田中朴黃瓶生

○よきはひ草(佐野紹益著)刊。

○四月朱舜水跋、年八十三。○九月山崎瀧齋跋

○七月工人、天下二字使用ヲ禁ス。(鏡工大下ニ見ル上ヨリ)

天和二



夕  
七部七册  
十三部廿五册  
十部廿七册  
三〇〇

諸子叢

佛書叢

楠校叢

五土部三十三册

桐山叢二本叢 雜

清桐 古子記傳。國文大觀  
有用世女學。仙書大系

清桐 國子刊行局題本  
大

癸亥

服部南郭、齋藤翁、安後東野、香川修庵、

伊後梅宇、高田太郎庵、生

○岡西惟中著一時隨筆刊。

天和三



洋桐

日本海軍大成。徳吉子文集。送集

杉二本立存。お

野月摺

三十六子全集

除

字彙探要。和字の要。石友の備  
及分所致。是水邊行

日本書影。古本。孫。史。吾唐史記

日本通紀

象記毛記

毛記郵記

甲子

大正三年四週  
干子(三八。年)

加茂司直。福葉廷齋。曲直漢雲夢。徳川吉宗

生。○僧木庵寂。年七十四。

○片桐精著野語述説刊

○四月書籍出版令(禁令)ヲ領ツ。

貞享元



支那文學 左傳水經等。知書

西學通 口訣 古歌節圖

支那詩書 大本

支那山經 大本

國文其他 大本

本草 大本

乙丑

白隱、了月、石田梅岩、伊藤介亭、生

○下河邊長流殿、年六十三。○山鹿素行殿、年六十四

負享二



地誌。紀日 半紙本

地誌 半紙本

雜書 其他雜

小説 其他雜 半紙本

三本新 仙器名数。白紙

三本新 和漢索引。西格格上

丙寅

入江南溪、土屋藍洲、沢村琴所、奥村了竹、

服部梅圃、生

○東見記(林道春の学問を就て語りしを人見卜出記録せし  
なり)刊。

○友禪染盛シナリ。

頁之三



清小字信箋時地。書目集

洋山 紙行 甚地

日本古今書目集 三綴 五十四冊

岩波文庫 二綴 十六冊

四庫全書抄本。抄本。抄本。史通。字彙  
抄本。子部。子部。十條。八十冊

八

六

五

8

9

10

丁卯

山縣周南。東海惟章生

貞享四



夷俗史 毛氏鄭策子支那史

博學十三種 (附) 鹽濱紀勝  
考の國友傳子

題通譯類。水經注

姓名付五經 十出 國史 明律

元印史略 二十九冊

支那隨筆。支那通譯類  
支那通譯類。三冊 四十五冊

除

11

12

三〇

四五

戊辰

平野金華、望月玉蟾、長雄耕雲生

○瑩隨筆アリ

元祿元



百七十九百

17 16 15 14 13

能書其地類

共二部 四十冊

子信可知 天士用物 助查際 廿日

老子河上公注 南道 九叙 言

地誌 紀行 書 十七部 四十冊

支那山說 大本 十二部 二十冊

常規 紀行 紀行 保運 大紀

天經 或問 等

國文 其地 十九部 三十冊

枕詞 或 真名 等 十卷 廿四冊

本草 大本 九部 二十冊

己巳

成島鳳卿、山本友石、馬場董水、三浦竹溪、

鳴錦生

○天文廿一年三月某、著、塵塚物語六卷刊。

元祿二



一〇〇

18

書道書法 七部 二十五部 三十册

一五〇

19

繪畫 在り地居 大本 五部 三十册  
三十二册。日見山居 大本 名部

一五〇

20

傳記 大本 七部 三十六册  
史拾遺 蘇家書出

一〇〇

21

太平記 五万巻 六十册

庚午

奥村政信、野田到并、高願并、菅沼東廓、  
鷹見成鳩生。○兵學家長沼守敬致、年五十六。

○拾言記アリ。

○昌平坂孔廟成也

元祿三



一五〇

一〇〇

一二〇

一〇〇

一〇〇

山子費探訪・品名家・品名書

三部 可成 三十五冊

山子道

二部 可成 四十冊

歸書

和 大本

十部

五十九冊

支那名産考 和 大本 十部 三十八冊

支那名産考 和 大本 十部 三十八冊

支那名産考 和 大本 十部 三十八冊

支那名産考 和 大本 十部 三十八冊

支那名産考 和 大本 十部 三十八冊

支那名産考 和 大本 十部 三十八冊

支那名産考 和 大本 十部 三十八冊

辛未

首祐隨筆  
遠碧軒記

英一璋、林原霞洲生

○十月四日、黒川道祐没。○八月、熊沢蕃山没。年七十三

○本朝俗談正誤アリ。○九月、土佐光起没。年七十五

元祿四



四 四 四 四 四  
 二 二 二 二 二  
 一 三 一 一 一  
 〇 〇 〇 〇 〇  
 〇 〇 〇 〇 〇  
 39 33 32 31 30 29 28 27

史記 七部 四十四冊

十部 四十九冊 四十二冊

三部 四十二冊 四十三冊

五部 五十九冊 五十三冊

五部 五十九冊 五十三冊

漢詩 六五部 五十四冊

佩文韻府 六十五冊

漢詩 十五部 五十一冊

壬申

將野憲信、南信、岡白駒、加多枝直、  
 柴山風來、伊多竹里、田邊晋介、田龍溪、  
 生。〇月岡西惟中、段、年五十四。

〇八月光園正成碑、湊川、建之

元祿五



一〇〇

38

一五〇

36

一〇〇

37

一〇〇

40

二〇〇

41

日本出典及卷の多し其書水邊物

東觀漢記 七部 二十九冊

書志 七部 二十九冊

隨書 七部 二十九冊

隨書 七部 二十九冊

支那通志 七部 二十九冊

五部通志 七部 二十九冊

支那通志 七部 二十九冊

支那通志 七部 二十九冊

癸酉

熊代熊斐、中井翁庵、松下島石、土肥雨段州、

和智東郊、守地秀緯生

○西鶴歿年五十二。

元祿六



五〇 五〇〇 〇〇〇 一五〇  
 47 46 45 44 43 42

隨筆 六卷 六部 四十二冊

日本通記 五部 五部 家範出納

大日本史 二十二卷 三十一部 三十五冊

傳記 七卷 七部 四十二冊

小治政 五卷 五部 五十一冊

雜記 五卷 五部 四十五冊

日記 五卷 五部 四十五冊

甲戌

伊後蘭嶋、飯田百川、中根東里、木村鳳梧生

〇十月芭蕉夜、年五十一。

〇二月濱書出版禁止令出ツ。

元祿七



元禄八

乙亥

○五月大久保・四谷・土月中野・犬小屋ヲ建ツ

五〇

48

七〇

49

一〇〇

50

一五〇

51

信善 平部十七部三十五册

和子 平部十七部三十五册

山流 平部十七部三十五册

素 平部十七部三十五册

平部十七部三十五册

棟 平部十七部三十五册

塔子 平部十七部三十五册

鶴 平部十七部三十五册



三〇 二〇 一五 二四 三〇

56 55 54 53 52

新傳子時記 廿四卷 二部 十冊

和訓歌林 廿四卷 二部 十冊

和訓歌林 廿四卷 七部 九冊

和訓歌林 廿四卷 七部 九冊

和訓歌林 廿四卷 七部 九冊

和訓歌林 廿四卷 十三部 十三冊

和訓歌林 廿四卷 十三部 十三冊

和訓歌林 廿四卷 十三部 十三冊

和訓歌林 廿四卷 十三部 十三冊

和訓歌林 廿四卷 十三部 十三冊

和訓歌林 廿四卷 十三部 十三冊

和訓歌林 廿四卷 十三部 十三冊

丙子

得野榮川、探牛、探常、蘆東山、  
平林淳信、溝口千谷、僧忍海生

元祿九



丁丑  
210  
10  
22部

四〇

桐二本立山古本雜  
可七部  
八十八册

46册  
三十五册  
二十二部  
百二十册

古本古書  
古本古書  
古本古書  
五部  
四十五册

白字法抄遺物  
白字法抄遺物  
白字法抄遺物  
四部  
四十五册

送山多抄

韻夷山抄  
三部  
四十册

約年譜山到女抄  
約年譜山到女抄  
約年譜山到女抄

木石書古物  
結白子  
觀

草書書海  
草書書海

59  
58  
57

丁丑

加茂真淵、宋紫石、中村蘭林、五井蘭例、  
大内熊耳、莊回子謙、松平君山、後多梧桐  
庵生〇宮崎安貞致、年七十六。

元祿一。



二〇

60

豆本 十部 二十四册

五〇

61

博覧 家園 少年 五十一册

四〇

62

人名録 三十六部 三十四册

四〇

63

新 三十六部 四十八册

戊寅

彭城百川、青木昆陽、多田義俊、英一舟  
冢田旭嶺坐〇十二月、河村瑞見、木下順庵、致、梓、七  
〇酒話隨筆アリ

元禄二



二〇

64

雜 少年

二十四部 二十冊

孫元通略記 名

和船船根記

三〇

65

辭書 少年

二十三部 三十冊

小説字彙 和語拾遺 拾遺集

和語集

二〇

66

雜 洋小書

二十五部 三十九冊

一氏分論 名英和 和名

信抄提唱 和名

己卯

田中蘭陵、真野華蔭、伊波澹齋、根本武  
夷、大谷永庵、衣川幸緒生

元祿三



一〇〇  
一五〇  
二〇〇  
三〇〇  
70 69 68 67

支那傳帖

本

少

九

八

書苑

三期半分

四十四册

外之觀音慈母像

觀音圖

佩文韻府

韻府

十册

外之金史明史

史記

佩文韻府一

游記

學中

韻府

庚辰

土佐光芳、三井親和、松下烏石、賀川子玄、

五十岩俊明、村土隆舟、武田常春院生

○十二月六日德川光園薨年七十。

○六月河村瑞軒歿年八十三。

元祿一三



五五 97  
 四八 25  
 74 79 72 71

水之類味 二編 五十八冊

書之類味 九十七冊

南基能書 二十五冊

書之類味 五十八冊

日本文名著文集 十八冊

97  
 25  
 122  
 27,95

~~27,95~~  
 6

辛巳

佛左吉、栗原楠川、石王塞軒、高橋宗直、

生○二月廿五日契沖寂年三十二。○十月佐野紹益没年三

○三月殘野長矩吉良義央ヲ斬也。

元祿一四



三〇〇  
夕五

三〇〇  
夕六

三〇〇  
夕七

墨庄大本箱 三十一部 百四十九册  
漢詩

桐 二本立大本箱

諸子 二十五部百四十三册

漢文隨筆(口平) 九部二十三册

概 二本立中箱

佛書 十六部四十九册

武治心集・軍器考等。七ノ筆地蔵

大治解・増物考等の山陰等

二十部 六十七册

壬午

横井也有、西依成舟、千代尼、古巻索洞、  
村井見朴、多田蒙齋、岡本邦氏生

○年山紀聞中、整冲行實記、此年成レリ(即ち安多為章の傳書  
は此レの前後に成ルものなり) ○七月中村煬齋歿、年七十白

○和板書籍考(幸島宗意撰)十卷刊。

○十二月赤徳浪士吉良義央ヲ殺戮ス。

元禄一五



四〇  
98

善心全集 13  
新編 4  
各部 29冊  
12

癸未

秋玉山、奥田三角、荻生道濟、川口孫兵衛、  
生

○二月大石良雄等二死ヲ賜フ。

元祿一六



三五〇

790

洋本棚大

下島君軍書十部、大、中、地、海、待、中

二、三、五、隨、節、中、菊、收、十、五、部、五、十、三、冊

一、形、中、古、後、二、十、七、部、二、十、七、冊

四、形、隨、孝、子、高、院、井、百、五、卷、隨、節、大、觀、寺

書、鏡、日、十、六、冊、外、大、鑑、二、冊

下、形、隨、節、室、石、路、即、後、及、等、等、一、部、並、有、

子、十、八、冊

一、形、帝、子、公、孫、八、冊、馬、路、口、記、一、部、另

書、他、共、三、十、冊

二十七部

計二百八十一冊

甲申

高野、南、真、小、紫、守、直、橋、常、樹、生

〇初代市川團十郎歿年七十一

寶永元



洋本棚小 九  
一册 古方用書 女界 六册 三册 古方用書

二册 古方用書 國文大觀

三册 古方用書 國文大觀 人 古方用書

四册 古方用書 國文大觀 九部 二十二册

五册 古方用書 國文大觀 九部 二十二册

六册 古方用書 國文大觀 九部 二十二册

七册 古方用書 國文大觀 九部 二十二册

古筆了延、住吉廣守、井上蘭基、山脇東洋  
生、○三月伊豆仁齋致、年七十九○六月北村季吟  
致、年八十二。○桂昌院尼菴、年七十九



修本棚

九十二册

一、白口女公傳。溫室書。口女記多表

馬年日記。再本。口女記多表上

塔本三卷。九册。三十册。三十三册

二、白口女隨筆古成。遺書。文。送集

口女隨筆。三部。第一册。二十五册

三、白口女隨筆七卷。二。三期

口女隨筆。二部。二十三册

口女隨筆。今本。讀新集。高厚為

十五册

加多文彙、鳥居清信、荷田在滿、柳里恭生

○二月、本朝語園(著者未詳)十卷刊。

○三月三日、柳原望洲歿。年五十一。○四月、口田多睡

歿。年七十八。○栗山潜峰歿。年三十六。



88 87 86 85 84 83 82  
 七 六 五 四 三 二  
 桐 桐 桐 桐 桐 桐

好古 三十册  
 新編 書物考證 四十五册  
 新編 書物考證 十三册  
 新編 書物考證 十册  
 新編 書物考證 十八册  
 新編 書物考證 若干册  
 新編 書物考證 五十八册

丁亥

佐脇嵩之、谷川士清、石川麟例生

○伊藤坦庵(宗恕)老人雜話(江村專齋ノ物語)ヲ繕写ス(寶永七年世三出ツ)○二月其角 十月嵐雪 四十五張

○寶永山出ツ、肚。

寶永四



寶永五

戊子

湯淺常山、林東溟、右島龍波、奥貫交山、  
生。〇正月雨森芳洲歿年二十八。

四百廿四冊

一冊三四號五二二三三九  
一〇五〇三三三

九〇

四〇〇  
919089

大田地理大學 十冊

世界地理大學 五冊

10冊  
四一廿三冊  
八〇六四

景観七  
目録  
四書版 十冊  
分十冊

古文  
十冊

一五  
99 92



補

萬石通史 三卷 三十四冊

萬石通史 二冊

是譜 二冊

四十四冊

增訂廣輿記 一卷 十二冊

新編一覽 和原軍出陣見 近江若布日録

刀割回生 玉多集 若札集

南部十九冊

高家多しの伝

萬石多事全集。大徳寺の世譜。新編寺強便覽二

館定便覽。孝家好古集。十五部 十八冊

説文。経之釋義。列女傳。以徳記。新編野路

希世國説。三時序記。七部 三十一冊

四十部 百十七冊

己丑

滝鶴甚、板倉帆兵、中西淡洲、伊多華園、  
赤松太度生

○三宅重因實操著「狼囊録」成也。

○此項東涯漫筆ノ著アリ。

○白石耶蘇教徒鞠問ノ

計四千二百四十一部

寶永六



庚寅

海部山堂

四角書院

三般草

七賢堂

宋胡蝶

白鶴

伊豆下我

海部山堂

寶永七

① 小箱入 夏本

説文通訓定石 ② 文心雕龍 ④

爾雅圖 ② 廣雅疏記 ④ 爾雅疏 ④

五經詩句 ④ 古文直學 ② 三統記 ①

孫子兵法説約 ② 清人書評 ① 人子才調集 ②

晚唐詩選 ① 晚唐詩抄 ② 晚唐石志絶句 ①

明詩別裁集 ② 詞茶詩餘 ④ 七書西文 ①

題畫小式 ② 古詩神平 ① 廣宋詩話 ②

三才圖會 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

古事考 ① 古事考 ① 古事考 ①

富平陽去。海部山堂

中二部總言月夏

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

二十一部 五十二冊

月岡雪島、伊豆錦里、宇佐美瀨水、鷓鴣殿

士寧生

○ 辨疑書目錄 (中村富平撰) 三卷刊。

○ 古書 ① 動手帖 ① 洋一 ① 紙田耕 ①

○ 中箱小品 ④ 安子手 ① 吳餘抄 ① 白詠 ①

○ 東坡懷堂集 ② 粟分 ① 韻畧 ① 廣詩選 ①

○ 詩文書畫評語 ② 雜錄 ② 漫抄 ② ②

○ 蒙求標題 ① 古事考 ④ 柿園月令 ④

○ 明書中紅藍譜 ④ 清玉 ① 人尺牘小傳 ④

○ 和漢名書 ① 西讀 ① ① ① ① ① ①

○ 標治世 ① ① ① ① ① ① ① ① ① ①

○ 山子書 ① ① ① ① ① ① ① ① ① ①







壬辰

山田麟嶼、河天門生

正徳二

○三十六子入五書 四十八冊

諸葛子袖印書序部 ① 刀刻道標 ①

喜葉子袖印書序部 ① 水經注 ②

聚好印林 ① 畫祿堂隱居子 ①

世宗子袖印書序部 ② 李長古袖印書 ②

刀刻道標 ① 加七也の ①

今田氏解刻 國強 天皇自記の ①

等刻 秘笈 ① 備後志 ①

十二部 十五冊

計 四十八部 六十三冊

○漢魏叢書

二十冊 合十冊



回磁子憲清本箱

二十五部  
二百九十一册

漢魏方朔百十卷等 四册 三十二册

宋詩鈔補共五卷 五十八册

王忠文公詩集注 一册 六册

古詩錄一册 四册 古今詩選一册 十册

唐詩詩錄一册 八册

李太白全集 十四册 李太白集一册 八册

王逸楚辭章句一册 四册

老莊西家編一册 六册

徐霞客遊記九卷 二册 十一册

支那通史一册 五册

鳥山石燕、祇園尚濂、服部仲英、江村步海、  
趙陶、僧米斗、里澤雉園生

○貞原益軒跋年八十五

東刻草字彙法帖一册 六册

四庫全書前編目錄一册 七册

佩文韻府書卷卷 二册 十六册

佩文韻府書卷卷 二册 三册

辭源三册

風文會要三册

康熙字典六册

三部十一册

漢和文辭書二册

二十五史人名索引一册



甲午

意以通译解 一册 三胖通译解 一册

十三经要孔经文考 二册

程可素题选

卷末。文萃。内岛 三册

易经。疏解。

卷末。文萃。内岛 三册

日本山内清先生纪念

德。房。任。立。口。光。本。卷。一册

德。产。山。内。清。生。一。册

放。学。心。会。集。二。册

寰。宇。訪。游。录。一。册

二册 珊瑚网 二册

黄。君。可。芳。著。四。册

楚。辞。注。释。一。册

薛。天。锡。诗。集。二。册

中。国。美。术。一。册

中。国。美。术。年。表。一。册

本。朝。文。粹。一。册

墨。子。二。册

山河保寿、龙草廬、僧澄月、香川南洋、

飛圭劍、长禹功、告〇二月菱川師宣跋、年六十六

〇徂來著、護國隨筆四卷(卷末附錄文戒可)

刊。〇貞女繪島流刑。

燕山外史 二册

助。德。室。家。三。册

今日抄 四册

明史研究 卷一

卷一

莊子論說 一册

雜駢集解 一册

古今詩考 一册

洞天清福集 一册

正德四



乙未

而誤便覺  
後者神  
此者神

正德五

狩野受川、川上不自、伊勢貞丈、細井九臯、

鈴木檀洲 出○七月稻生若水跋、年六十一。

○藤井滅(懶齋)著、閑條筆記 三卷刊。

○俗說贅辨刊。○九月三笠附博奕禁止

○大日本史命名。

詩林要法 一册

古詩法便覽 一册 明解漢和詩典 一册

漢左王律苑 三册 唐賢三集詩 一册

金元清詩歌 一册 聯珠詩格 一册

文林典故珠 一册 書家便覽 一册 物類抄 一册

事類彙編 一册 歌謠摘錄 一册 家範 一册

觀音經 一册 無名同契 一册 地風水經 一册

新撰西行物語 一册 詩法纂彙 二册

清言一册 集古偶錄 一册 老子 一册

和漢軍談 一册 菊物偶寄 三册

刀劍辭典 一册 北齋叢書 五册

平五終。白羊宮。白玉那 三册

伊藤在子未 一册 十傳十宜 一册

遊山遊水 一册 新入蜀記 一册

吳的集 八册

三字經 一册 白石道人詩集 一册

葛約 一册 即興詩人 一册

芝嶺園 一册 詩畫 一册



桐一本之經 十三部 三十三冊

菅村白集 二冊 比孫子 一冊

五の篇の事書記 十六冊

新野の事書記 一冊 出雲國誌 一冊

三醉古事陣為 一冊 香遠集 三冊

菅村白集 二冊 香遠集 一冊

○菅村白集 二冊 香遠集 一冊

○菅村白集 二冊 香遠集 一冊

丙申

燕村、若冲、武梅、右村蓮菜、真也、安通、飯田太華、瀬名貞雄生

○八月、白石折々柴の記成也。○柏崎永以著古今

沿革考成也。○蟠龍子著 異理 安者世鏡刊。

○十月、安者世鏡刊、年五十八。

享保元



◎道具棚

五經集注 五十七冊

八朝詩集 二卷 二十冊

杜詩集注 二卷 三十冊

詩玉屑 一卷 二十三冊

李義山詩集 一卷 四冊

黃真子詩集 一卷 六冊

楊書院詩集 一卷 二冊

李長吉詩 一卷 四卷

李長吉詩 一卷 合一冊

九十部

四百七十七冊

物性英信、幸信、櫻井雪館、宮崎筠園、佐竹繪之、橋保國、神村東阜、大塩龍渚生

○常世草刊  
○相國忠相奉行上九

御製及耕織圖 一卷 二冊

極漢新志 一卷 四冊

蘇州府志 一卷 四冊

蘇州府志 一卷 八冊

免史 一卷 三冊

詩子集解 一卷 二冊

送集漢印分額 一卷 五冊

一卷 四冊







書畫志二卷 新編一

魏氏名義集 二

川先治在列傳 三

程國第中道更轉 一

二十史略 八册

村忠治拾遺七卷拾遺 一

林泡列子 一册

文子家範 一

清史稿 二

文選類法 一

文選類法 一

文選類法 一

建部凌岱、大同春川、僧大典、宦海新

門、清白海叟生

○乙州著·叙清畫、之州、草刊○九月若水著

廣物類彙纂、獻大

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

李長吉集宋批本 二册

帳

詩本草 一

同

詩本草 一

同

詩本草 一

同

詩本草 一

同

詩本草 一

同

詩本草 一



淡井太室、渡辺湊水、淺井海樓、高陽谷、  
横谷玄圃、植本筑峰生

大正會館紀 十二冊合五冊  
音聲詩錄 在南部 五冊  
古今詩則 五冊合三冊  
花曆百詠 二冊



小説 4  
 二十日史稿 4  
 新撰大人名録 九冊  
 新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊

新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊  
 新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊

新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊  
 新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊  
 新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊

叙月徳、赤松滄洲、後後芝山、金谷静台、  
 相柳安、石金瀬濱、大川鴻、僧東海生

新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊  
 新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊  
 新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊  
 新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊  
 新撰大人名録 九冊  
 漢魏書 二十冊

五九冊十



三浦梅園、荷田蒼生子、井上四明、高美共著  
 種村箕山、賀川景平生。○八月高玄岱致、年七十四  
 ○山川素石・細川宗春共著二川隨筆成儿(三)

◎小槻子

十五部

十八冊

今抄集 二冊

相見地力文集 一冊

塩鏡論 一冊

原色書の二冊

給日記 一冊

日守續史 一冊

書中秘蔵 一冊

原色高山植種 一冊

廣宗八家抄 一冊

信蓮路集 一冊

抱朴子 一冊

本堂綱目 一冊

折新書 一冊

折新書 一冊

折新書 一冊

折新書 一冊

折新書 一冊



5256  
3,911  
6877

大雅堂、楫取魚彦、片山北地、小澤芹菴、  
前理蘭化、平賀鳩深生

計 五千三百九十二冊

袖五部

六十一冊

4241  
1151  
5392

5183  
152

5235

4128  
1132  
5256  
5256  
778

大分  
大分  
大分

◎手文庫入活帖類

十部

趙學問書法活帖類

吳大澂書法

趙文敏書法活帖類

何象雲書法活帖類

文學建首

義之、大雅堂

○大綱

外之、傳邊教類

永原古之、葉子文

大雅三之、物智教類

劉石香、相國墨蹟

唐五、活帖類

三百五十九部  
千七百五十一冊

1970  
161  
1131



服部天游、中西惟忠、山内架台、高葛坡生  
○三月英一蝶、辰年七十三、○十月近招、巢木子、辰年七

◎ 籍

書代 越景

出づ 二冊 十方冊

近 詩

天 杜詩

出づ

海 仙傳

〃

神 傳

〃



小

◎防室境

八册

大

書目類原典

十二卷四册

書目

書目類原典和漢書目錄 七册

書

國書解題

二

〃

日本古刻書史 一

大貳(山形) 松崎觀海、新井白岫、福井楓亭、  
武川幸順生。○五月新井白石卒、年六十九。

書目索引 一

小

藏書室書

五册

書

丹鶴書

八册

〃 入

藏書室書

四百五十卷 四十八册  
二百四十卷 四十八册

享保一〇

子史類編

百六十卷 八册



初中

海錄碎事 二十二卷 二册

小学

小学集 四卷 二册

一函

小学诗珠 十卷 五册

小学

小学事文类聚 百册

初中

欽定全唐詩 四卷 三十二册

初中

唐詩正聲 卷用加 二十卷 二册

初中

唐氏題詞詩類絕句抄 四卷 二册

初中

才調集 十卷 三册

王荆公書石家詩選 三册

初中

陶淵明全集 定文版 四册

大詩典 二十六册

國歌大系 二十八册

享保二

勝川春章、松山天姥、安達清河、生







南

杜樊川詩注小四

李商隱詩集小四

白樂天詩集洋四

王臨川全集二十四卷十冊

歐陽文忠公全集六卷十二冊

蘇東坡詩集二冊

蘇東坡詩集三冊

蘇東坡詩集八冊

高才郎詩集二十五卷十二冊

高才郎詩集二十五卷十二冊

キ

唐大

キ

キ大

大

享保一三

細井平洲、南唐大猷、若田御風、溝口曉谷  
生○歿生徂來後年六十三。

陳忠裕公全集三十卷十二冊

梅村詩集十六卷八冊

梅村詩集十六卷八冊

袁海雙詩集二冊

三家詩話一冊

三家詩話一冊

楊誠齋詩話大

楊誠齋詩話大

楊誠齋詩話大



享保一  
大九 大九 大九 大九 大九

文及古 大二  
常我子のあしり 大十二冊 西保版  
考考何物物 大二  
所田の早苗 大一  
徒然草大全 十五卷 全二冊  
"之抄 西保版 大一  
"之抄 西保版 大一

小野蘭山、村上玉水、戸崎漢園、奥田尚孫、  
原田東岳、荒木長江、生  
○丹羽供齋著六道士會録刊。  
○四月天一坊處刑。

キ 中 大 大 大

葉家待法客要 大三  
放翁歌話 大一  
小説精言。奇言。粹言 十四冊  
仙居 大一  
新著題跋 五卷 一冊  
雲地錦囊 四冊 旭宇



中 大 中 小 中 小 中 大 中

山家集 五册

菅家集 大 二册

和歌集 引 五卷 一册

言部 大觀 洋一 拾一

和歌集 二册 拾一

和歌集 五册 拾一

和歌集 三册

享保一五 中 中 中 中

持世集 川 二代 三熊思考 本居宣長 中

井竹山 伊後東所 片山兼山 久保忠祿

稻垣棟隆 高嵩谷生  
○三月 殊意癡著 白河燕談 三卷刊。

○寒河辰清著 辨四民本傳刊。

和歌集 五册

和歌集 八册

和歌集 二册

和歌集 一册



享保一

大

大南大菊中

抄聖水常、香川子玄、吉田管墩、山田圖  
南、人見平良、生

百子全書 三百八十三卷 八十册

析老 洋一

南華古史經三注大全 二十一册

韓非子聖賢論 洋一

莊子南華古史經 二

南華經 五色經 八卷 四册

老子道德經 二册

中 中 大 大 大 小

中 中 大 大 大 大

十三經注疏 三十二册  
周易折中 五  
詩外傳 五册

御注孝經 三十卷 四册 智因

孝經參將 一册

印板四書集注 小二册 智因

詩經子問 大八卷 四册

左傳補注 三册

十三經注疏	三十二册
周易折中	五
詩外傳	五册
御注孝經	三十卷 四册 智因
孝經參將	一册
印板四書集注	小二册 智因
詩經子問	大八卷 四册
左傳補注	三册







享保 大 二 二 菊 菊 菊 小

室名正系引 一  
 日本随书索引 二  
 日本随书合集 二十册  
 露伴合集 十二册  
 日本书画苑 二  
 書道入心集 二十册

園山主水、上田無腸、宋紫山、伴蒿蹊、  
 山下池亭、平海旭山、荒井千春、杉田玄伯、  
 倭文子、村井椿壽、生○月横谷宗砥、  
 ○九月八日天野信景卒、年七十三。

享保 大 二 二 菊 菊 菊 小

東鑑 大 二 冊  
 或經記 八 冊  
 事類文編 洋五冊  
 菅家室録 三 冊  
 書行物語 二 冊  
 廿四史 三千二百三十七卷 二百十六冊  
 資治通鑑綱目 二十四冊  
 辭較收史記 十冊



孫過庭書譜

政州山水奇勝 二帖

書世風俗五十番歌合 二

日本畫院大觀 一

廣重 由田言 一

山水奇觀 八

今樣歌合 二

千鶴名畫集 一

畠山 三

百本名山圖會 一

キキ

キ

皆川洪園、橋子菴、歌川豐春、古尾

昔陽、岡崎蘆洲、岡道溪、伊多藍田、

杉原素之先生○十二月細井廣澤致年七十八

○多田教俊著遊和草(秋大和郡山遊びの記事)成ル。同

年奈良三遊ヒラ續遊草モ成セリ○菊岡治涼著本朝

世事談綺刊。(天保七年再刊也)

東行宮女 梅花 一

竹譜評語 二

廣重 東海道 寫馬入 一

海峯狂歌合 一

尖世新撰石圖 二

キキ

キ

享保一九



キ

キ

支那南画大成 二十二册 外附録之册

明治美術名作集 一册

增訂秘訣 三

陶説 葛国是 三

模写技法白記 三

模写之史料 一

水経注 洋小 二

西山拙舟、鳥居清満、岳東海、高野  
東山生

○篠崎東海著、可成三註成心。

○是手長崎天始之清製堆朱色蒔繪青貝漆器法也

同様法 五

中国古今地名大辞典 洋一

人名辞典 一

此子紀行 十册

常葉古事本考 一 圖不備 一

實用植物図説 一

植物名集 三

享保二。

キ

キ



平 千 千

河津抄

三册

新史草本

四册

戸割名物帖

四册

日抄

本問

一

移本本朝録

一

千字文

一

湖景部五万石分地圖 四册

右村兼葎、岡田新川、石川香山、唐橋君山、市川君桂、服部栗林、森永春齋、徳川家治、高本順、甲賀玩鷗、生  
○十月、徂徠先生可成談三卷刊。  
○七月、伊東東涯七、荷田春滿、九

1391  
5992  
6983

元文元

浮草記 湯子まゝにて 照子の歌

通世抄 三枚巻 五冊

田舎あみ 八巻 二

抄の巻 九部 十册

百中抄 千三百九十一冊

計六千七百八十三冊

三冊  
20949



防空壕入

- 一、廿四史·子史精華·通鑑綱目
- 二、事文類聚
- 三、支那南画大成
- 四、大辭典 廿六冊
- 五、書道全集
- 六、國歌大系 萬葉古義 歷代傳覽
- 七、日本隨筆全集
- 八、露伴全集

薄用小本入

二函

菊版

房書

隨筆序介  
支那人名地名  
二平表

耳髯叢書

元文二

岡田玉山、岡田朝陽、篠崎郁洲、豊島  
 豊洲、萩野台洲生  
 ○田中元陳著、繪云波草刊  
 ○九月飛鳥山、櫻樹ヲ植フ。

- 十、湧鑑類函·駢字類篇
- 十一、莊子大全·史記·周易·左傳·草叢·朱批莊子
- 十二、東鑑·義經紀·管我
- 十三、夏の細道·河のしり·柳名集·竹譜·職人志·地圖
- 十四、杜詩注·百子全集
- 十五、全唐詩·王維·高青邱
- 十六、十三經·六國志



大本

游仙窟

千字文注

陶渊明集

文天祥杜诗

三字诗话

楊誠齋诗话

苏北诗话

诗法卷中要

放翁诗话

方文记

方文抄

左傳補注

古傳編

唐代書畫

花子大全

史記

周易抄中

左編

韓詩外傳

墨江武禪、土佐光貞、富士谷成章、永田  
觀代鳥、森周峰、柳理齋石生

徒然草大全

春をいせりりり

文及古

菅家定録

菅家萬葉集

御注左經

待意子問

孫吳副論

孝子考

河内の子苗

孝經考釋

元正の訓



芥心錄

徒政名言

承久記

德仁記

東鑑

敦經記

菅政

保元平治

源氏物語

西行物語

當世風流五十首歌合

畧書畫式

可存名山回云

自守草花集

海道狂歌合

北尾重政、村田春卿、生、熊取台剛、長阪園

光琳新撰百回

畫文類聚

半紙本

海錄碎事

唐詩正字 智用

小說精言、高之、祥言

墨邊錦囊

山家雜詠

續入和歌索引



俳諧職業本

華村家文書

義經書在傳

漫遊記

柳菴

古史成文

山水奇觀

今様職人

那智の枯松

横雪岐雨記

すくみ草

能登地力

古筆了泉、市川鶴鳴、石作石駒、山田穀山、内山真亮、清水江東、下田芳澤生、

○つゝ草拾遺あり

狩人於くのゆき

草名集

日本竹譜

瓶史草本備考

小本

杜子野集

古國史

御遊一草書

因縁法法

國史纂編



寛保元

題画詩抄

中書紺珠

機房三筆書法

三部抄名抄

蘇黃題跋

東照字彙

錦字集

書畫集注

大系抄典

陶說

丹青秘訣

一夜百响

中山愛親、西依墨山、松會平陵、市川  
白藤、小寺清之生

○夏山閑話五卷成凡。

於くのりりり

唐本大

五色译本杜詩

庄子

漫石飛卿集

素園石稿

陳忠裕公集

業の素子月志引

陶詩集注

丁福



唐小

廿四史

子史精華

通鑑綱目

百子全書

全唐詩

全唐文

全唐書

全唐表

王荊公唐石志

杜詩若也詩卷

杜詩詳注

十三經注疏

陶詩

丹羽嘉言生

○三月新見正朝破年九十二。

杜詩餘論

杜詩偶評

王右丞

李長吉

杜樊川

李長吉

王右丞

劉禹錫

林和靖

寬保二



范石湖  
高青邱  
倪云林  
吳梅村  
漢洋  
滄浪詩話

李如圭

大槻盤水、糸井道載、紀梅亭、河野子  
龍、小石元俊、竹籬亭竹堂、五松鶴林、平林  
東嶽生

○多田義俊(多田兵部義寬卜署之)著、如才作葺葦草紙成心(蓋し  
南嶺遺稿之同記事若干也)○菊岡泮涼著、諸國里人  
談刊。○活涼著、藻塩袋刊

洋世祀大本

大辞典

圖書録目錄

房産、東海志



洋装 菊版

丹鹤 叢書

事實文編

田吉 解題

日存 畫 猿 大 観

廣 重

美 道 草 本 考

隨 筆 考 引

支 那 人 名 辞 典

支 那 地 名 辞 典

日 存 隨 筆 合 集

日 存 隨 筆 合 集

中 五

中 五

岡田 米山人、慈川 春所、三繩 桂林、井戸

趣 秋 生

○山崎 九 最 著「世説 愚案 問答 刊

鏡 花 集 九 部 十 冊

玉 葉 抄 三

李 右 大 白 集 評 四

村 上 隆 集 評 四

白 葉 天 道 集 評 四

日 本 古 刻 書 史 一

上 田 祐 成 合 集 二

秋 成 遠 文 一

日 本 書 畫 考 二



浦上玉堂、尾後二洲、桂川月池、香川  
黄中、吉益南涯、梅沢西郊、前波曜軒、  
齋後西山生

水經注 =

宝用植物図説 一

尸刻名物帖

寺川字考

本草考略

本草考略

397

479

556部

1191

1391

2522册

百七十九部

外二地圖

千三百九十一册

洋小

歌学大系 二六

李義山集傳義 三

葛美集古義 一二

三句法川傳白大觀 一

吳梅村詩集

杜詩考

行幸本朝繪巻 一

老林百景図 一

清琳子歌集 一

口本傳学考表 大分平气表

延享皇太后御幸考表



丙寅

〇〇〇  
四千三百二十四冊  
四千三百三十三冊  
四千三百九十一冊  
計  
中  
子  
防  
盛  
境  
入

村田春海、村瀬抄寫、塙保己一、桑山玉  
洲、著本田久光、賴春水、信々本邦其書  
大江成美、五十名元祇生

〇多田義俊(多田左衛門源滿泰ト署ス)著、宮川日記(二月六日ヨ  
リ三月十二日迄伊勢國逗留間の記)成ル。

延享三



○防空壕

廿四史

事文類聚

書道全集

東鑑

地圖

新法筆經

史記

支那南老大成

9  
10 8 7 6 5 4 3 2 1

たくのゆき  
ヨウチノ

辨字類集

兼字類集

兼字類集

野谷何石、物理閑川、清水曲河、岡田

寒田泉、片桐相陰、勝山琢珉、郭関月

森祖仙、菊地衡岳、清田龍川、清原

雄風、生○五月晦日太宰純致、年六十八。

○多田義俊(桂左衛門源武起ト署ス)著、ちぢや草一卷成。

○十月菊岡沾凍致、年六十。

○山岡俊明著、勢四狂刊。

延享四  
14 13 12 11

大辞典

新書大系

史記全集

東鑑



寛延元

1615

今書目録

五維山高青印集

十三経 六國史 万葉全書

随筆子引 夫取世臣 精水子翼義

支那人名辞書 中世史名考引

唐書 伊予録 同存

丹後書 西史辞書

以上十六巻より収む

菅茶山、菱川岡山、菱岡湖山、嘉成就  
渚、林下葵園生

○野村尚房著、一枝軒随筆此頃成ル（元禄年中より寛延  
の始めまでの見聞記）



七律二  
七律二

薛逢

七律二、七律三

追若行。醉春行。三、宮、五、丁  
詠柳。宮詞。六銜。聲。悼古

己巳

蜀山人、市河寬秋、岸駒、木芙蓉、渡辺  
玄對生

○南嶺子刊。○伊後道基著三餘清事成也。  
○原田東岳著臥游漫抄刊

寬延二



駒井源瑞、鑄本物溪、古賀精里、葛唐丸  
鶴鳥見星臯、有賀長叔生

○駿吉室雜話五卷刊。(享保十七年成) ○學山錄成。

○杉岡恕庵著詹言三言刊。



寶曆元

岡本保存、山本守禮、古筆了意、関敬  
明生、

祇園南海没、年七十五。(隨筆湘雲贖語二卷了)



吳月溪、山本、沙山、加後、李雁、廣、  
基山、蘇大、林、伊、後、鏡、河、生、



癸酉

喜多川歌麿、雲室道人、東東洋、  
福井格亭生、

○多田義俊著秋齋閑語刊。

室  
三



急回鵬林、抄中卷川、辛島塩井、山本  
清溪、著、木吳橋生、  
○世説雜話刊。



住吉廣行、尾崎雅嘉、長澤芦雪、井川  
雪下園生

○太宰純撰和漢帝王年表(寛保三年成之)男定保校刊  
○田中道齋著道齋隨筆刊。○紀上漫草成之。



賴杏坪、服部中庸、柴田汶嶺、少川  
萍流生

○新井戸歌若牛馬問刊。



丁丑

伊多東里、橋本經亮、大江藍田、永富  
龜山、永田西河、那波細川、河村蒼根生  
○南嶺遺稿刊。

室一七



中井董堂、山中天水、泉豐洲生

○六月十七日中井誠之(菟庵)跋年六十六。

○大舩東菴著、齋語俗談刊。



釧路雲泉、山口素絢、春木南湖、三角

了齋生

○十月、杉岡去達(成章)著「結託錄」三卷刊。○閏七月  
滋川時英著「薰風雜話」成。○河田孤松著「辨惑金  
集談」了



宝丁一。

葛飾北郡、松本、新津、松本探牧、松本  
廣長、新津、山中、天、水、洞、野、真、生



酒井抱一、山東京傳生  
○南留別志刊。



勝川春英、屋代弘賢、岡熊岳、林天真、  
 皆川篁跡、白井惟徳生、  
 ○正月、徂來、南留別志刊。



癸未

森川竹窓、柏木如亭、本居春庭、小栗常山生、

○九月、大枝流芳撰、雅遊漫錄刊。○秉燭譚五美刊。  
(享保十四年成水子子) ○昆陽漫錄成几。○林白見著  
市井雜談集刊



甲申

谷文晁、葛西因是生

柏木如亭、狩野素川生

○林山森著「雜說萬葉話」刊

○三月清國ヨリ圖書集成ヲ舶載ス。

明和元



明和二

土佐光時、大田錦城、藤井高尚、羽倉惟徳生



渡邊南岳、小泉檀山、島春嶽、中江笠江、  
大高、高門生。  
○續昆陽漫錄成山。○秋義海著、菴漫筆刊。



六月九日曲亭馬琴生、大窪行傳、長澤若  
洲、青木木米、物望泰信、生

○鈴木煥卿著、撈海一得二卷成凡。(同八年刊)

○五井純禎著、瑣語成凡。○高橋宗直著、蓬響錄成

○六月廿一日仙臺尚語、著者林竺翁跋、年六十八。

○閏九月、原雙桂跋。○飯袋子著、獨樂筆遊刊

○亦村三曉庵(大貳探元)跋、年八十九。



明和五

荒木田久守、富士谷御杖、松本研所、海生  
君平生

○三月、清絢撰藝苑談刊。○續昆陽漫錄補成。



明和六

新川豊國、吉村孝敬、小川春山、菱川月  
山、大岡備川、僧明堂生  
○春木昆陽、歿（十一月）年七十二。



明和七

香川景樹、山田和秋、張月樵、華岡

隨賢生

○老翁談刊。○小野竹叢著、温知隨筆成。



明和八

○此頃和庄  
大夫トイハル者  
異説まち  
ノ著アリ

八木翼所、桂直行、畑柳春生

○漫畫隨筆 (鈴木燠卿著) 携海一得の改題 二卷刊。  
○此頃常山樓筆餘ノ著アリ。



安永元

物理洞白、佐後一跡、谷秋香、中井曾編生



糸井昭陽、歌川國政、伴信友、僧大綱、

笠原大梁、山口行厚、丹羽盤桂、生

○九月、伊勢貞文撰、秋草成心(春・夏・冬草と共に四季草

と稱す、共に此間前後一成就なり)○西村白鳥著、煙霞

綺談刊。



谷口月窓、阿部棕軒、原人多舟、岡本胡保、百々俊徳、高橋楊園生、

○八月「古先茶話」著者、柏崎永以弼。○十月、入江喜著「幽遠隨筆」刊。○伊勢貞文「南留別志」、僻説を擧げたりあるまじしヲ著ス。○七月、谷真潮、あるまじしヲ見たり、せむべししヲ著ス。

○春、綾辻年五十三



乙未

鈴木南嶺、河本公輔、榎並隆理、秋

山光飛生

○二月土肥經平著、春湊浪話三卷成也。○畫譚雞  
助成也。○西村遠里著、居行子刊。

安永四



○去清鑑屑  
譚著アリ

渡邊赤水、中林竹洞、菊池五山、村上松

堂、吉田元長生。○谷川士清跋、年六十八。

○八月、板屋壹助著、行餘隨筆二卷成也。

○六月、鈴木煥卿跋、年六十二。

○三月、魯堂、神沢貞幹著、翁草二叙也。○三浦淳夫

著、閨室自適刊

安永五



邦中、関川、田能村、竹田、卷菱湖、歌川  
園重、高崎、千春、水神、廣業、垣本、屋  
匠、福原、瀬水、生、



戊戌

長谷川雪旦、岡本豊彦、貫名海屋、原  
在明、古賀教忠、生  
○小栗百萬卷屠龍工隨筆、門人留倫ノ凡例アリ。  
○臨深亭主人著、視聽雜錄刊。

安永七



安永八

宇津本昆台、浦上春琴、市河朱之庵、  
田安齋匡生○十一月平賀源内没、年五十一。  
○木鷄山人著浮世ごうしアリ○伊勢貞丈著あ  
ふひづりアリ



安永九

生 杉村景文、中島綜隱、賴山陽、橋守部

○仲山高陽跋(三訓)年六十四。  
○鷺水閑談刊。



辛丑

住吉廣尚、篠崎小竹、青山延子、荻本  
寛快、岩倉北溪生。○四月湯淺常山、年七十四  
○書籍名數(中村治重撰)三卷刊。○林自見、芝雜  
說、囊詒刊。○山口安固著雜詒筆記了。

天明元



土佐光孚、岡田半江、矢野昶潮、生

○秋八九月、天野信景、門人紀方蕉、鹽尻遺稿ヲ輯メ百  
卷ヲ編纂ス信景五十年忌ニ當ル○十月土肥經平張年七十六  
○九月、杉村梅岡著、駒谷芻言、成ル○三浦安貞著  
梅園拾葉成○南川維遷著、閑教餘録刊。



六月三日伊庭可笑致、七十七歳○七月長野藝山致、年五十五、  
 物部永俊生、柳亭種彦生、遠坂文雄、  
 小山田晴清生、福井隸園、松野梅山、松田  
 直先生、  
 ○八月、森長見著、國學志具三卷成也。



岡本秋暉、足代弘訓、菅井梅園、横山  
華山、小石玄瑞、生  
○入江昌喜著、久保の取す尾び刊。



天明五

新中之攝信、大倉望山、立原杏所、吉田  
南陽、小田海僊、生



天明六

○橘窗茶話三卷刊。○空華談叢刊。



鳥居清滿、新宮涼庭、沼田月舟、谷文  
 一、柳川雷斗、草場佩川、抄理邦信生  
 ○玉田成喜、身比庵利帖、模刻○浪華名瀨子著  
 胡蝶為隨筆刊○森長見、調忘貝、アリ



天明八

菊池岩舛大橋長廣生



寛政元

梁川、星峯、谷文二、福田美楯、菊池  
溪雅、水尾、齋、潤生、岸、本、多、弦、生、  
○た、り、れ、ぐ、さ、(雨、森、芳、洲、著)刊。○寛、長、の、五、十、一、け、成、り



寛政二

物也永岳、菜田義董、山本梅逸、並所  
基廣生、



僧録第、三世卷六、菊田伊州、富田  
春洲生

○中井鏡庵著、すくすく刊。

○五月、國朝書目(後原貞幹撰)三卷刊。

○新井白石著、蘭の曙、其刊。



寛政四

池田英泉、大西椿年、穂井田忠友、生



渡邊華山、十市石谷、歌川國直、山田清  
安、石河竹崖、勝山琢文、生  
○北條鉉集古帖模刻。



寛政六

信吉弘貴、大石貞虎、山本中齋生



玉手棠洲、青木南溟、浮田一菴、村濑

秋水、生

○好古小録刊。○岡田挺之著「東徳談」刊。

○富士谷成章著「非なるべし」刊。

○平鉄東作著「芋野」名談成凡。



物地晴川、鈴本其一、高久雷端、関思  
 亮、市川茶舟生○桑楊庵(つりりの老)、坂年七十二  
 ○中井積善著、逸史成ル。  
 ○笈埃随筆、著者百井、塘而破。



歌川國芳、安多廣重、益田遇所、柳田  
正統、田中雲慶、生○谷真潮、年七十一。  
○好古日録刊。○河社五卷刊。○柳原紀光著  
閑齋自法成也。



寛政一。

岸良、後原隆信、鎌田巖松、吉川君  
溪生

○森山孝盛著「延喜の焼落の記」成



友森天山、山内香雪、村越甚策等生。

○玉勝間九奏刊。○司馬江漢著西洋畫談成几。

○三月岡田挺之強年三十三。○五月少野高尙強。

○川口好和著「奇遊談」刊。



物野彦山、徳川齊昭生

○桂川中良著、桂林漫録刊。○大塚嘉村、蒼梧隨筆成。

○退閑雜記十七卷(寛政五—十二)成。

○八月入江喜政、年七十九。

○笹屋邦教、浮世繪類考追加成。○西村白鳥

著煙霞綺談成。



享和元

椿椿山、池田狐村、秦隆古生

○三月、閑田耕筆刊。○九月、石原三明著、年々隨筆、  
第一卷成、(年々源を追う文化元年より至る)  
○九月廿九日、本居宣長歿、年々七十二。



高力蕙園、山本顯祿、橋本雪樵、関菴  
洲、加後霞石、（清）白山、仙石牛鹿生

○尾崎雅嘉著「羣書一覽」刊。

○秋意延著「鄰女略言」刊。○東隨舍（栗原幸十郎）

（たか）思出草紙（雜記）五卷ヲ著ス。○羈旅漫録成ル。

○正月廿五日「葦葭堂」坂、年六十七。○泰山孝盛ノ賤  
のち〜〜成ル。



癸亥

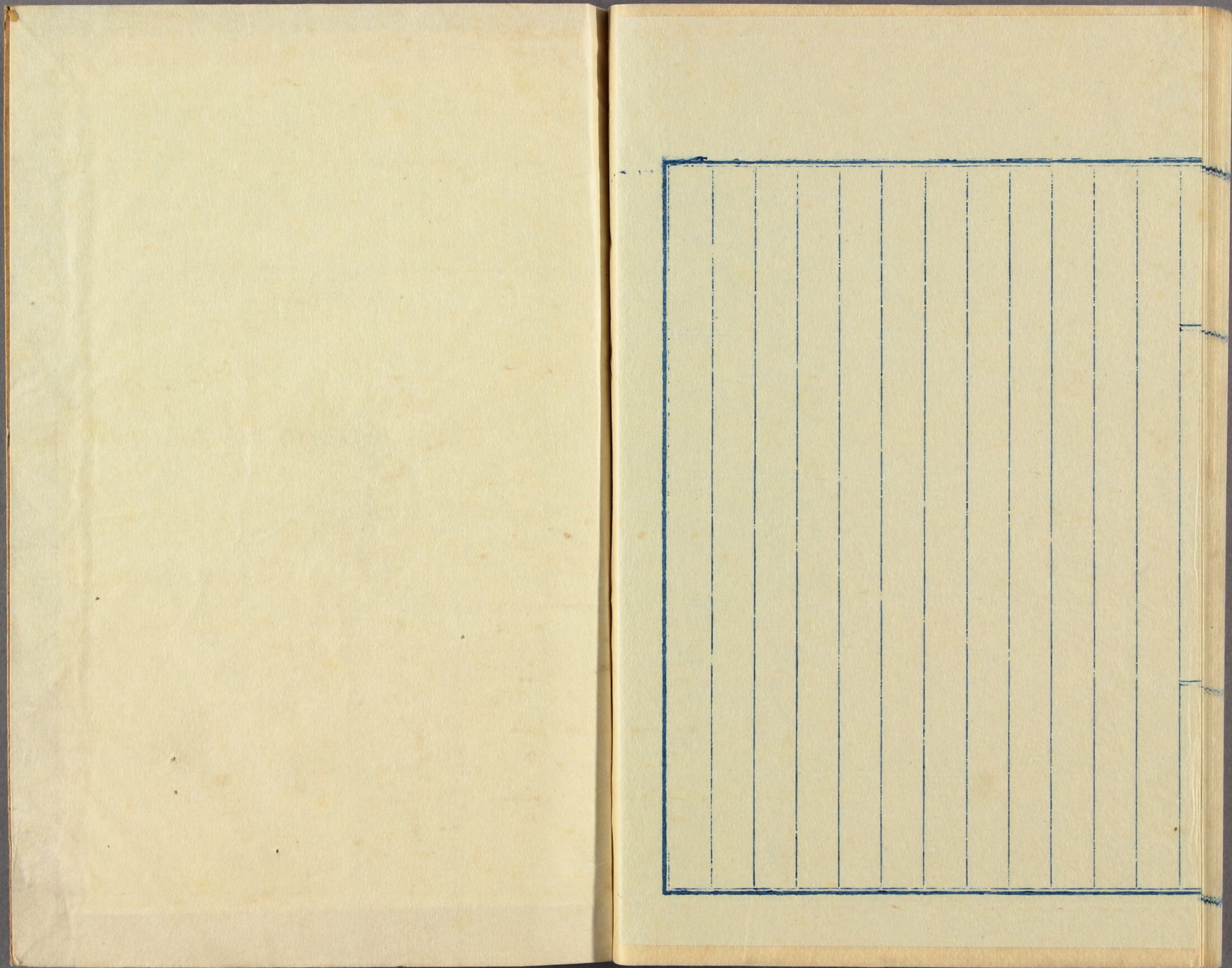
佐竹水海、小森樞郭、原田圭岳、石田

如雲生

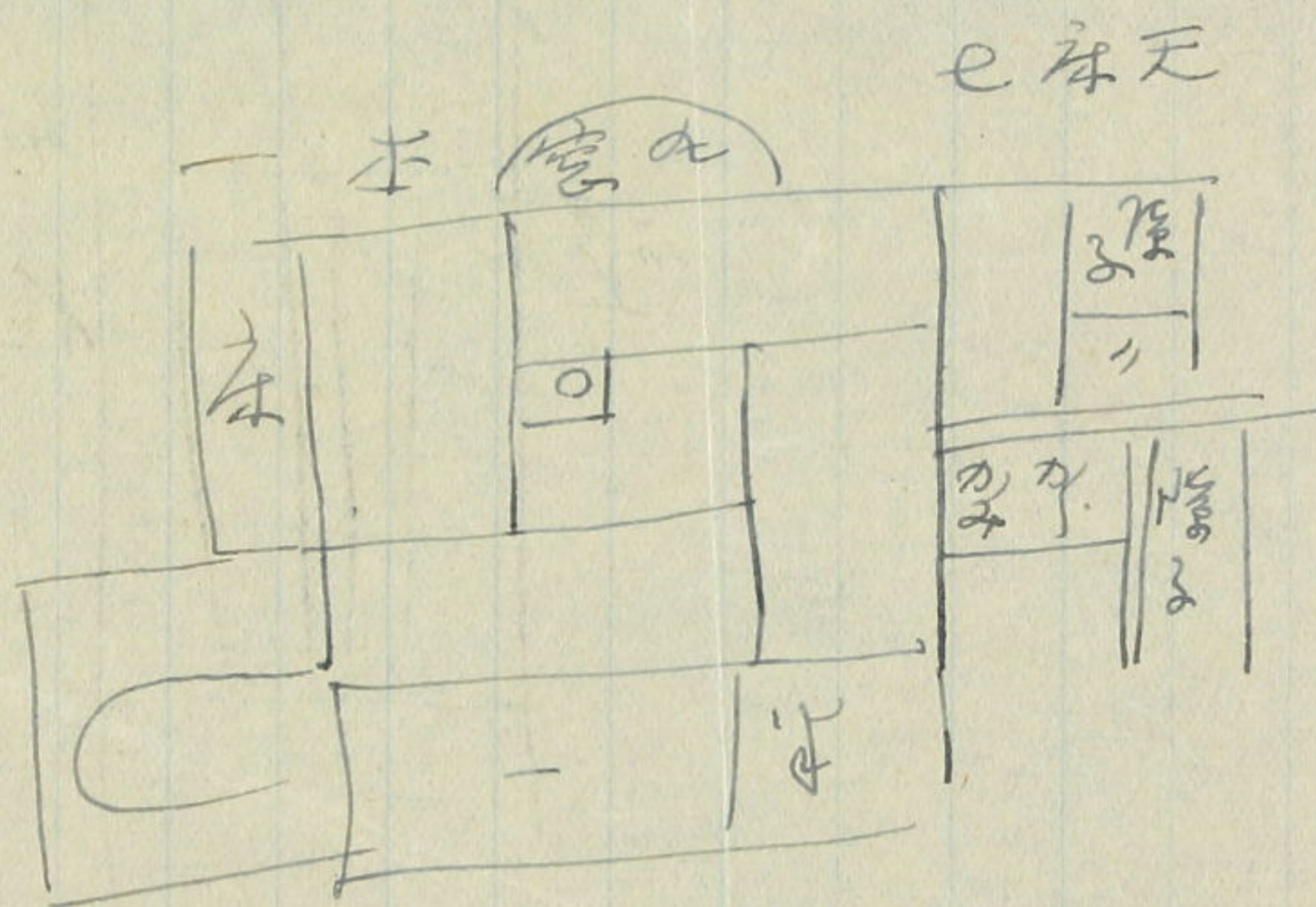
○田宮仲直著、東牖子刊。○蓑笠雨談三卷刊。(曲亭漫  
筆又嘉永元年著作堂一名話と改題)

享和三









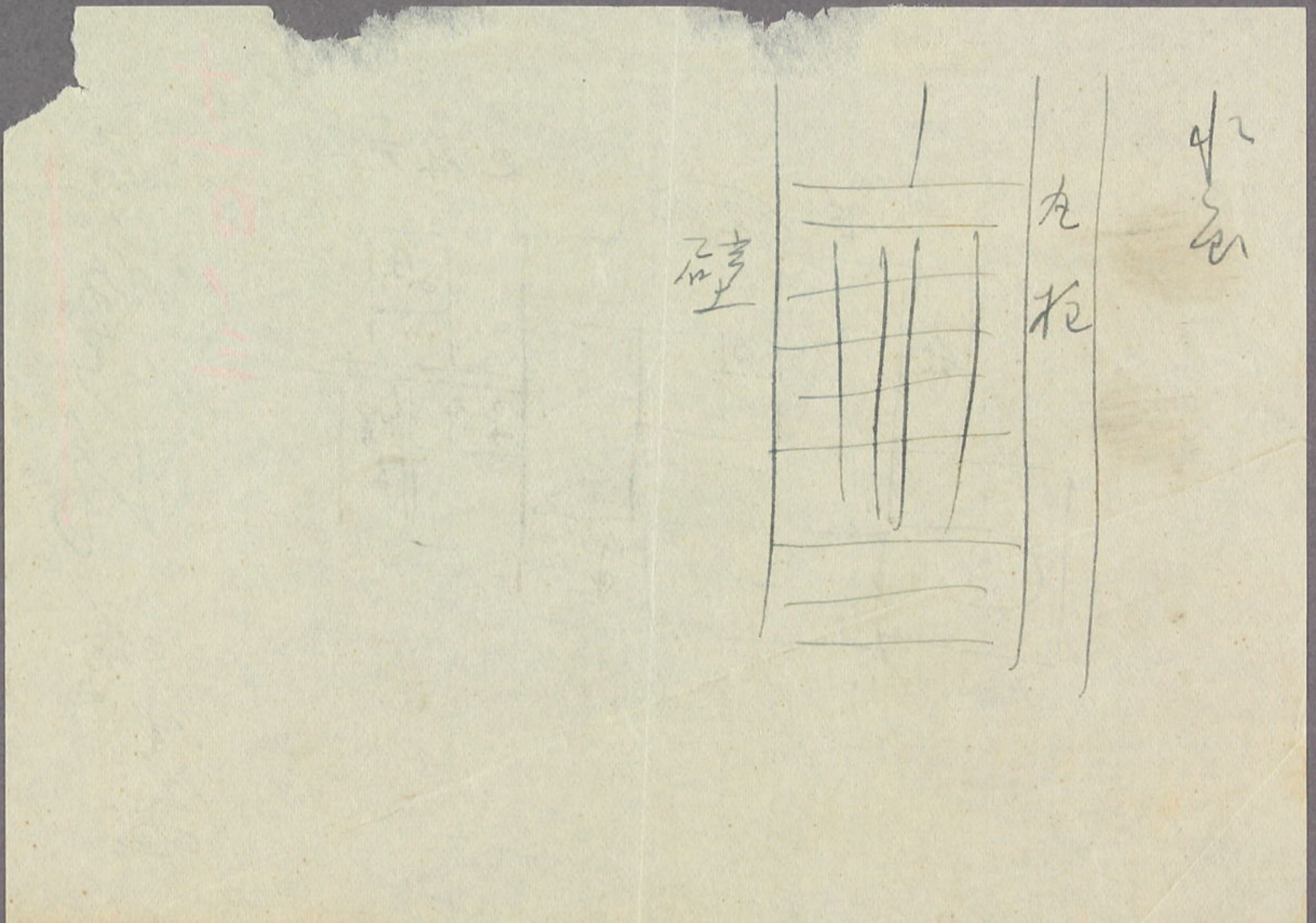
天麻也

十一日

子  
子  
子

子  
子  
子





乙亥  
何上

左  
柜

水  
心



